

# 令和3年度 みずほ保育園 事業計画

## 主テーマ『保育の原点に返り 子どもの主体性を育み、子ども達が笑顔でいられるように』

今年度 みずほ保育園では「保育の原点に返り 子どもの主体性を育み、子ども達が笑顔でいられるように」という主テーマのもと、保育を実施し、保育内容の充実を図ると共に、それを支える保護者の気持ちにも寄り添い、保護者の養育力の向上につながる保育園の特性を活かした支援を実施していきたくと思います。

また前年度末に実施した「保育園評価アンケート」をとおして みずほ保育園の「保育理念」や「保育方針」が十分に伝わっていない事が明らかになりました。これらが保護者、地域の方に十分周知されるよう 園だよりや保護者会総会、各種行事などを通して繰り返し、「保育理念や保育方針」等を伝えていきたくと思います。

そしてみずほ保育園 保育目標にも掲げている、「親が子供を授かった喜びを味わい、子どもを受け入れ、見守り、共感する保育」が実現できるよう職員間の連携を密に保育を行っていきたくと考えています。

### 【施設運営】

「保育料の無償化」、「宮津学院」など 保護者の興味・関心は非常に高く、保護者、地域利用者が常に安心して保育園を利用できるよう 市町村や関係機関との連携を密にとり、制度周知のリアルタイムの情報把握に努め、健全な運営、法人経営が行えるようつとめていきたくと思います。

### 【人材育成】

「保育所保育指針」「子ども子育て支援新制度」「きょうと福祉人材認証制度」等が目指す保育園の在り方、職員スキルなどの理解を深め、保育に寄せる様々な人の思いや願いに支えられながら、子どもの幸せに寄与する事ができるよう園内で研鑽を深めます。また園外研修も積極的に行いたくと思います。

### 【保育内容】

#### ①子どもが自主的に遊びを展開できるように

やりたいことを見つけて粘り強く取り組む姿の育成として、保育士が主体的に遊びを提供するのではなく、子どもの自主性を尊重し、子ども自身が遊びの内容を考え、工夫し、展開していける環境を整えていき、主体性を育んでいきたくと思います。その際、「卒園までに身につけておきたい10の姿」も意識した指導計画の下、実施したいと考えております。

#### ②行事の在り方について

昨年度、幾つかの行事が実施できず、改めて「行事の在り方」について考えさせられました。これまでの「行事在りき」の保育ではなく、『行事を通した体験や学びは子どもの育ちを支える重要な役割を担っている』との見地に立ち、行事を計画・実施し、子どもの育ちを分かりやすく伝える一手段として 運動会や発表会などを実施していきたくと思います。

#### ③防災対策、保健対策、

- ・自然災害に対応できるように改めて防災マニュアルを再整備し、防災対策の意識付けを行います
- ・保健対策として、保護者に対し、流行性疾患がはやる前に、「手洗い・うがい」の励行と共に、「不要な外出を控え、規則正しい生活を心がけてもらう等」の意識啓蒙に関する通信を出し、流行性疾患などの予防に努めたい。また園内で流行性の疾病がはやった時には、ホワイトボードやメール配信システム、お便り等を利用して、情報を迅速に伝えたいと思います。

### 【保護者の意見の収集】

保護者からの率直な意見は、改めて保育の原点、保育の在り方、問題の所在、原因などについて職員全体で話合うよい機会となります。また こうした意見や、直接苦情といった形にならない保護者からの意見、相談等を含めて、職員会議や園内研修の中で「職員のあるべき姿」について伝えていき、「保護者と共に考える」という観点に立って問題をとらえ解決に臨みたいと思います。保護者の意見の収集の手段として、「連絡ノート」は、貴重な意見のやり取りの場として今年度も継続実施したいと思います。

また、今年度においても「園評価アンケート」は実施したいと思います。